



銅鐸とムラ

— 国宝 桜ヶ丘銅鐸をめぐる

弥生の営み—



2025.7.5(土)
— 8.31(日)

休館日：月曜日、7/22(火)、8/12(火) ※ただし7/21(月・祝)、8/11(月・祝)は開館
開館時間：9時30分～17時30分（金曜・土曜は20時まで）

※展示室への入場は閉館の30分前まで

会場：神戸市立博物館 2階南蛮美術館室、特別展示室2

観覧料：一般 1,500円（1,300円）大学生 750円（650円）高校生以下無料

※（ ）内は団体（20名以上）・前売券の料金
※ 神戸市在住で満65歳以上の方は当日一般料金が半額（要証明）
※ 障害のある方は障害者手帳などの提示で無料
※ 前売券は2025/4/26(土)～6/15(日)まで博物館1階にて販売
詳細は神戸市立博物館ホームページをご覧ください
※ 本展観覧券にて同時開催特別展・コレクション展示室も入場いただけます
主催：神戸市立博物館
協賛：公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部
後援：NHK 神戸放送局、Kiss FM KOBE
特別協力：鳥根県立古代出雲歴史博物館、国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館
協力：一般財団法人 神戸観光局

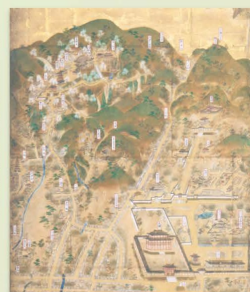
令和7(2025)年度 国立文化財機構所蔵品貸与促進事業

① 国宝 桜ヶ丘3号銅鐸 弥生時代中期 神戸市立博物館蔵
② 国宝 加茂村倉31号銅鐸 弥生時代中期 文化庁蔵（鳥根県立古代出雲歴史博物館保管）
③ 重要文化財 大谷山4号銅鐸（昭和37年出土） 弥生時代前期 滋賀県立史土城考古博物館蔵
④ 北青木遺跡出土弥生土器 弥生時代中期 神戸市蔵

同時開催

特別展

神戸市立博物館3階
特別展示室1



古地図であぐる三都
〈エド・キョウ・オオサカ〉

Touring the Three Major Cities in Historical Maps — Edo, Kyoto, Osaka



神戸市立博物館
Kobe City Museum

〒650-0034 神戸市中央区京町 24 番地
Tel 078-391-0035・Fax 078-392-7054
<https://www.kobecitymuseum.jp/>



国宝23点、重要文化財5点、 市指定文化財3点の銅鐸・銅戈が神戸に集う

神戸市立博物館が所蔵する桜ヶ丘銅鐸・銅戈群は、昭和39年(1964)12月10日、神戸市灘区桜ヶ丘町にて偶然発見されました。銅鐸14点と銅戈7点の埋納、両面に絵画をあらわした銅鐸の希少性から、昭和45年に、一括して国宝に指定されます。桜ヶ丘銅鐸・銅戈群のように銅鐸を複数埋納することにはどのような意味があるのでしょうか。各地の複数埋納事例から、その意味を考えます。

また、桜ヶ丘銅鐸・銅戈群が発見された六甲山南麓は、銅鐸の出土が集中する地域として知られています。本展では六甲山南麓の銅鐸が一堂に会するとともに、周辺集落〈ムラ〉の様子を出土資料でたどります。

発見から60年を経た今、改めて桜ヶ丘銅鐸・銅戈群の魅力と当時の人々の暮らし—弥生の営みをご紹介します。

複数埋納事例として有名な 国宝・重要文化財の銅鐸が集結！



国宝 加茂岩倉39号銅鐸
文化庁蔵
(島根県立古代出雲歴史博物館保管)



重要文化財 柳沢2号銅鐸
中野市立博物館蔵



重要文化財 大岩山1号銅鐸(昭和37年出土)
滋賀県立安土城考古博物館蔵



重要文化財 柳沢6号銅戈
中野市立博物館蔵

里帰り！ 六甲山南麓に埋められた銅鐸



馬平鈕式銅鐸(海森銅鐸)
東京国立博物館蔵



芦屋市指定文化財 流水文銅鐸
親王寺蔵

銅鐸とともに生きた 人々の暮らし—弥生の営み 最新の発掘調査事例も交えてご紹介



北青木遺跡出土弥生土器壺
神戸市蔵



城ヶ谷遺跡 写真提供：神戸市文化財課

記念講演会「桜ヶ丘銅鐸に学ぶ」

講師：井上洋一氏(奈良国立博物館長)
日時：7月12日(土) 14時～15時30分(開場は13時00分)
場所：神戸市立博物館 地階講堂
定員：140名(当日受付、先着順) ※当日13時から地階講堂前で整理券を配布
参加費：無料(当日使用できる本展観覧券が必要)

学芸員による展示解説会

日時：毎週土曜日 17時～17時30分(開場は16時30分)
場所：神戸市立博物館 地階講堂
定員：140名(当日受付、先着順)
参加費：無料(当日使用できる本展観覧券が必要)

特別展 古地図でめぐる三都 〈エド・キョウ・オオサカ〉

江戸時代には武士の集住化や商品流通の発達などにより、三都をはじめとする都市の人口が増加しました。こうしたなかで、都市の様相を描いた都市図が生み出されます。一口に都市図といっても描かれる内容や作成の契機、利用者などは様々。本展では、当館所蔵資料から都市図の描かれた背景に迫ります。

新板武州江戸之図 寛文4年(1664) 神戸市立博物館蔵(南波松太郎コレクション)



●JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)、ポートライナー「三宮」駅から南西へ徒歩約10分 ●JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分 ●神戸市営地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」駅から南東へ徒歩約8分 ●新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗り換え、「三宮」駅下車 ●神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車
※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。



神戸市立博物館
Kobe City Museum

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL 078-391-0035 FAX 078-392-7054



Facebook, X
@kobemuseum



Instagram
kobemuseum

博物館HP

